

**麻しん（はしか）に注意！**

**2019年に入り、大阪を中心に関西で麻しん患者の報告が続いています！  
神戸市内でも麻しん患者が報告されています！！**  
自身の予防接種歴を確認し、予防接種歴がない場合は、  
**予防接種を検討しましょう。**

- ★**症 状**：発熱、咳、鼻水、耳の後部や首すじから全身に広がる赤い発しん
- ★**特 徴**：感染力が非常に強い。特に、発しんがでるまでの感染力が強い。  
合併症として脳炎や肺炎を起こすことがあり、命に関わることもある。  
(肺炎や中耳炎を併発しやすく、患者1,000人に1人の割合で脳炎を  
発症し、患者1,000人に1人の割合で死亡すると言われている。)



★**感染経路**：空気感染、接触感染、飛沫感染

★**感染してから症状がでるまでの期間**：10日～12日（約2週間）

一昔前までは、「麻しんは誰でも一度かかる、こどものありふれた病気」と言われていましたが、  
予防接種の普及により麻しんの患者数が激減（国内で年間100人～200人程度）しました。

**麻しんを予防するためには**

## 麻しん・風しん混合ワクチンの予防接種を受けましょう！！ ～2回接種をおすすめします～

麻しん（はしか）は感染力が極めて強い感染症で、麻しんウイルスに対する免疫がない方が感染した場合、ほぼ100%の方が発病するといわれています。

麻しん（はしか）は空気感染することから、手洗いやマスクでの予防では十分な効果が得られません。もっとも効果的な予防法は、**ワクチン接種によって麻しんに対する免疫をあらかじめ持っておくことです。**

神戸市では、30～40代の年齢の患者報告が多いです。  
母子健康手帳で、自身の予防接種歴を確認しましょう！

これまでに1回接種した人も、免疫が十分得られなかったり、得られた免疫が低下してしまう人がいます。できるだけ2回接種をしましょう！！

（任意での接種費用は1回1万円程度ほどかかります）

■**定期接種**■ 【1期】1歳の誕生日前日から2歳の誕生日前日までに1回接種

【2期】小学校就学前の1年間に1回接種（平成31年度は平成25年4月2日～26年4月1日生が対象）

定期予防接種の期間に接種できなかった人の中で、長期療養など特別の事情があった場合には、各区のこども保健係へご相談ください。